

しん せい かい  
新政会だより

Vol.8

平成21年8月16日  
発行

新政会

基本理念

友愛・公平・公正・効率を旨とする

スタンス

保守・中道路線

米田市政を是々非々で支える



議員控え室にて

右から

所属委員会

- 齊藤 伸一 総務文教常任委員会
- 伊藤 文博 市民厚生常任委員会
- 野本 信行 建設産業常任委員会

ご挨拶

市民の皆様には、ご家族でお盆休みをお過ごしのこととお慶び申し上げます。

日頃より、新政会の議会活動に対し、ご理解と暖かいご支援を頂いていますことに、心より感謝申し上げます。

4月の選挙後、新政会は会長に野本信行を選出し、3名の新体制でスタートしました。

野本信行 港湾交通対策特別委員会

委員長

齊藤伸一 監査役

伊藤文博 第二次地域情報化調査推進特別委員会委員長

一般廃棄物最終処分場調査対策特別委員会副委員長

3名全員が糸魚川市議会の要職を担うこととなりました。

糸魚川市議会きつての政策集団を自負し、勉強会を重ねながら、糸魚川市民の皆様のお役に立てるよう研鑽を心掛けて活動して参りますので、変わらぬご指導の程、よろしくお願ひ申し上げます。



教育委員会との勉強会

情報基盤整備の方針決定！

加入申込件数や地区説明会の状況等から、ケーブルテレビ整備は断念することとなり、一方、国の経済危機対策の補正予算の情報基盤整備国庫補助事業を使い、ブロードバンド・ゼロ地域解消と併せて地上デジタル放送対応のためのテレビ共聴施設整備を推進するという市長の方針が示されました。

第二次地域情報化調査推進特別委員会で審議して、調整方針を決定し、各共聴組合の意向を確認した上で、整備方針が決定されました。

① 国の補助金を使って、未整備の地域に光ファイバーケーブルを2芯新設します。

② 一本は通信業者に貸し出し高速通信サービスを行い、もう一本の維持管理を含めた契約とします。

③ もう一本はテレビ放送に使います。糸魚川市役所にアンテナを設置して地上波デジタルを受信。機械で通信信号を強くして各家庭に光ファイバーケーブルを通して配信します。

これにより、難視聴地域の共聴組合は独自の共聴施設を持つ必要がなくなります。また、対象地域四千世帯のうち共聴組合は千四百世帯ですので、残りの二千六百世帯もアンテナが要らなくなります。

利用料金は一ヶ月五百円程度になる見込みです。

残念ながら今回の整備には、高速通信網が整備されている糸魚川局（552番号）と青海局（562番号）の地域は補助金の関係から対象となりません。

今後は、能生地域でケーブルテレビによる行政情報サービスが行われている現状から、「一市一システム」「一市一サービス」「情報格差の是正」が課題となります。

# 【新政会勉強会】

## ◆糸魚川市の教育について

■平成21年7月13日（月）

☆糸魚川市の食育について  
◇能生給食センター



現・給食センター

### ◇建設中の新給食センター

#### 【施設の概要】

名称 糸魚川市能生学校給食センター  
所在地 糸魚川市大字能生2714番地1  
給食棟 建築平成21年7月  
建物構造 鉄骨造平屋建て  
延床面積 660㎡  
開設 平成21年9月  
厨房方式 ドライシステム  
配食数 805食/日（センター含む）  
【主な調理器等】  
冷蔵庫・冷凍庫・パルスルー冷蔵庫  
蒸気回転釜・ガス回転釜（低輻射構造）  
ガスフライヤー  
スチームコンベクションオーブン  
フードスライサー  
和え物用回転釜  
真空冷却機  
消毒保管庫

自動食器洗浄機  
天吊式コンテナ消毒装置

新しい給食センターは、設備も素晴らしく、自校方式に比べていかに効率的かがよく分かります。あのような設備を各校に揃えることは無理ですし、人員もトータル的には余計に掛かるでしょう。

しかし、教育的には自校方式の方が良いそうです。顔の見える調理員が自分たちのために一生懸命作ってくれて、良い香りが漂ってくる。「食育」にも結びつけやすいでしょうし、発展性もありますね。

福井県小浜市の先進例のように「食でまちづくり」とまではいなくても、食べ物の美味しい糸魚川ならではの「食育」システムを期待したいですね。



新・給食センター

### ◇中能生小学校にて児童と学校給食試食

試食は量も多く、味も良しでなかなかのものでした。  
でも、一番良かったのは、子ども達です。  
「いつも給食は美味しい？」  
「うん」

「何が好き？」  
「俺は魚大好き、刺身なら何でも好き、タコ以外は」  
「ラーメンは？」  
「塩味」  
「俺の兄ちゃん、好き嫌い何にもないよ」  
「すごいなあ」  
「兄ちゃん、三年生」

などなど、会話が弾み楽しい昼食でした。



中能生小一年生と



■平成21年8月4日（火）

### ☆教育三法改正内容と糸魚川市の対応

教育三法の改正について（文部科学省資料抜粋）  
糸魚川市の対応

### ☆創設する「子ども課」の内容について

糸魚川市子ども一貫教育方針策定委員会  
説明資料・要綱  
心豊かな人を育むまちづくりとして、「日  
本一の子供を育てよう」を合言葉に、子ども  
一貫教育と地域愛育成教育を推進し、子ども  
課の創設を図る…と市長は明言しています。



教育委員会との勉強会

「子ども課」の組織と役割について、色々と議論しました。

「日本一の子ども」とは…「日本一の子どもを育てる」とはどういうことか？

「日本一の子どもを育てる」とは、「日本一の子育てへの熱意を示す」ことではないか。市長の強いリーダーシップで、熱い熱伝導を実現してもらいたいものです。

「全体像を明らかにして各論に入っていく」という手順をしっかりと行うよう要望いたしました。

### 編集後記

8月4日に遅い梅雨明けとなりました。農作物への影響も心配され、今年は美味しいお米が食べられるのかと農家の皆さんへの影響が心配です。海洋高校相撲部のインターハイでの活躍も報じられ、秋の新潟国体の活躍が期待されます。色々な意味で実りの秋となることを期待したいものです。  
日本初の「世界ジオパーク」認定も間近に控え、市民の関心も徐々に高まりを見せています。しかし、まだまだ市民の皆様に対する説明と啓蒙は行き届いていないと言えません。  
「ジオパークにより糸魚川をどうするのか」全体像を明らかにして、各論に入る作業が望まれます。折角の機会を何としても活かしたいものです。  
編集子